

平成 28 年度

沼津工業高等専門学校動物実験委員会

報告書

## ○今年度の主な活動

### 1) 第1回動物実験委員会

平成28年5月26日 16:00～16:30

2階第1会議室

出席委員：芳野委員、後藤委員、青山委員、竹口委員、露木総務課長、山口総務係長

欠席委員：鈴木委員

議題：

#### 1. 委員長の選出

委員会規則第4条に基づき、委員の互選により芳野恭士が選出された。

#### 2. 委員長による委員長代行の指名

委員会規則第4条に基づき、委員長代行は後藤孝信が指名された。

#### 3. その他（確認事項）

以下の会議資料に従い、委員会の活動内容及び本校の動物実験の実施状況について、配布資料に基づき確認を行った。

##### 1) 沼津工業高等専門学校動物実験委員会ホームページ

委員長より、文部科学省の指導に従い、委員会活動についての公開を行っている旨の説明があった。

##### 2) 沼津工業高等専門学校動物実験委員会規則

##### 3) 沼津工業高等専門学校における動物実験に関する指針

指針の目的について確認した。

規則および指針に誤字があるので修正が必要との指摘があった。

##### 4) 「動物実験に関する指針」について（平成27年度）

本校で行われている動物実験の概要について、指針の各項目ごとに委員長から説明があった。

##### 5) 教育訓練用資料

動物愛護法の骨子について、委員長より説明があった。

##### 6) 実験計画書及び報告書

昨年度行われた実験の計画書及び報告書について、委員長より1例が示された。

今後の委員会は、特に重要な討議問題がなければ年度末に今年度の動物実験の適正な実施についての確認を行うために第2回委員会をメール会議で開催することとした。

以上

## 2) 第2回動物実験委員会

平成29年3月21日(火)～3月24日(金) メール会議

委員：6名、陪席1名

議題：

1. 平成28年度自己点検報告書(本文書)を作成し、その内容について委員の了承を得た。

今年度実施の実験について、動物の検疫、実験の安全性、糞尿処理・死体処理、動物の苦痛排除等が適切に行われたことを確認した。

これらの動物実験に関する補足説明

- ・今年度、実験計画書の提出は5件であり、そのうち、3月21日の時点で4件の実験報告書が提出された。残りの1件については、実験が終了し次第実験報告書の提出がある予定である。
- ・今年度動物実験に用いられた動物は、マウス93匹であった。
- ・今年度動物実験に従事した教職員・学生は6名であり、これらの者は平成28年3月2日に実施した教育訓練を受講した。
- ・今年度、本校で行われた動物実験の成果は、7件の学術論文及び総説、ならびに12件の学会等での口頭発表により公開された。
- ・実験に用いた試薬には、毒劇物および遺伝子操作、感染症に関わるものは含まれなかった。
- ・実験に用いた動物は、正規業者(日本SLC社)より購入したもので、定期的な観察により外見上の異常は確認されなかった。また、遺伝子組み換え動物は、使用しなかった。
- ・動物は、頸椎脱臼またはエーテル麻酔下に安楽死させた。
- ・飼料は通常の市販実験動物用飼料(主に日本SLC社製及び日本クリア社製)、床敷きは通常のチップ(日本SLC社製)、飲料水は通常の水道水を使用した。
- ・糞尿の処理は、床敷きのチップ(おがくず)として沼津市が可燃物として収集した。
- ・動物の死体は、三島函南広域行政組合(みしま聖苑)に焼却処理を依頼した。

2. その他

特になし。

以上